

OSK KHJ岡山きびの会

平成 12 年 9 月 20 日 第 3 種郵便物認可 (毎月 25 日発行)

平成 25 年 11 月 26 日 OSK 増刊通巻 137 号

<http://kibinokai.ciao.jp> 「メッセージ・21」

第 1 2 2 号 (平成 25 年 11 月)



「KHJ 岡山きびの会」のご案内

2013年度 年会費	正会員 6,000 円	賛助会員	3,000 円
月例会参加費	〃 500 円	正会員以外の方	1,000 円

郵便振込先 01380-6-77803 KHJ岡山きびの会

※ご入会・ご寄付は随時受け付けております。年会費未納の方は役員・スタッフにご相談ください。

連絡先 〒709-0827

赤磐市山陽5-8-20

【電話・FAX】086-955-2857

会長 中西 茂明

居場所

岡山市北区表町1丁目4-64 上之町ビル4階 (市電・城下電停すぐ。アーケードに隣接)

月・水・土曜：午前11～午後4時、金曜：午後1時～6時 (詳しくは巻末をご覧ください)

「KHJ 岡山きびの会」の願い

不登校・ひきこもりの子どものことで悩んでいる親どうしが情報を交換し、親の気持ちが癒され、元気づけられ、「この子がいてくれて本当に良かった」と心から思えるようになることを目指します。

そして本人たちが、自分の意志と選択と決定において、生き生きとして社会参加できるようになることを支援します。

グループでの話し合いの約束

- ここでの話はここだけのことにしましょう。
- 相手の話は受容しながら聴きましょう。
- 非難・批判はしないようにしましょう。
- 長く会に参加している人は新しい人に手をさしのべましょう。

<11月例会のお知らせ>

日 時 平成 25 年 11 月 10 日（第 2 日曜日）午後 1 時～5 時
場 所 きらめきプラザ 2 階 ゆうあいセンター 大会議室全室
岡山市北区南方 2 丁目 13-1 電話：0 8 6 - 2 3 1 - 0 5 3 2
内 容 ●演題 ニート・ひきこもりからの未来づくり&経験者との語らい
講師 NPO 法人 グローバル・シップこうべ
森下 徹 代表
●ひきこもり相談会（役員による来談者へのオリエンテーション）
参加費 正会員 500 円・正会員以外の方は 1,000 円

<12月例会のお知らせ>

日 時 平成 25 年 12 月 8 日（第 2 日曜日）午後 1 時～5 時
場 所 きらめきプラザ 2 階 ゆうあいセンター 大会議室全室
岡山市北区南方 2 丁目 13-1 電話：0 8 6 - 2 3 1 - 0 5 3 2
内 容 ●演題 若者支援の状況
講師 岡山地域若者サポートステーション
総括コーディネーター 原田 緑
●ひきこもり相談会（役員による来談者へのオリエンテーション）
参加費 正会員 500 円 正会員以外の方 1,000 円

10月例会 悩みを話し合いましょう（経験を語る。）

ひきこもり支援相談員 友野 順二先生

こんにちは友野です、宜しくお願いします。今日は何からお話させていただこうかと思いましたが、簡単に自己紹介と今までおりました『フリースペースあかね』のことから話してみようと思います。わたしの家族のことになります。が中学校3年の頃から、きびしい祖父母と同居するようになったところからなんとなく、学校から家へ帰りづらくなって来ました。

そして東京の大学に通うようになります『心理学科』を選びました。

でも当時は実験心理学が中心で、自分が学びたいこととは違う気がしました。1980年頃からでしたか下宿から大学の校門まではなんとか行くのですが、そこから一步も学内へ入ることができなくなってしまいました。今から思えば「対人恐怖症」とでも言うのでしょうか、それから段々と下宿から外へ出られなくなりました。ただ風呂・映画・美術館・コンビニにはなんとか行けていましたが。その共通点は人と話さなくていいことです。

そして、大学ではなくそのころ流行っていましたゲームセンターで一日を過ごすといった毎日でした。結局大学在籍は8年間になり退学を言われ、下宿先も改修を理由に退去をもとめられてしかたなく岡山へ帰ってきました。

岡山ではゲームセンター働いていました。

それから、『フリースペースあかね』ですが10数年前になります。が堂野さんといわれる方の自分の不登校の実体験を書かれた『あかね色の空を見たよ』という本が映画製作され、上映活動が行われました。そして、その収益金で1991年に不登校の小・中・高生の居場所として『フリースペースあかね』がオープンしました。

代表者が私の叔父にあたります。そのホームページの掲示板に投稿しましたところスタッフの方から色々丁寧なアドバイスをいただきました。ちょうどそのころ「NHK」で「ひきこもり当事者」の放送がありそれを見て、自分の体験と重ね合わせて共感することが多くありました。ひきこもっていても何も我慢することはないんだ。悩みや思いを聞いてもらったら気持ちも楽になると。

そして、自分の経験・思いを『あかね』掲示板に8回掲載して頂き、それがきっかけで約8年間手伝いをしてきました、其の内スタッフとして5年間活動してきました。

現在、平成24年に岡山市ひきこもり支援相談員になり中学校2年生の訪問支援をしています。今年の8月でしたか「きびの会」支援員のYさんに相談に乗って頂きました。それなら「きびの会」を手伝ってほしい。当面『指導員』をと言われこちらに来るようになりました。

上ノ町の居場所へ毎週月曜日にYさんと二人で、また第4土曜日にも当番として詰めています。

その間に感じたことなのですが、定例会での講演の内容・その後の座談会でのお母さんの言葉が印象に残っています。でも、居場所を利用され方がまだまだ少ないように思います。読書会・たこ焼きパーティーなど好評と聞きますが、若者を中心にした企画等々を今後も工夫が必要ではないでしょうか。

これからの私のことになります。が11月例会に来られる『グローバル・シップこうべ』の森下さんの様な、ことができたかと考えています。当面は妻と2人での起業になると思いますが、その折には、宜しくお願いします。これで終わります、有難うございました。

休憩の後、ご参加の方から自己紹介をかねておのおの現状などお話いただきましたが割愛させていただきます。

第8回全国ひきこもり KHJ 親の会九州大会資料から

なぜ〈ひきこもり対策法〉が必要なのか

KHJ 本部理事 松本 太郎

皆様もご承知のとおり、引きこもりは『病名』ではなく『状態』であるとされております。そのためもあってか、ひきこもり当事者は2次障害(うつ状態等)が出て中々医療や福祉と繋がりにくく、ついつい長期化しがちです。しかもそれに日本社会・産業界の激変も加わり、若者が働くことへのプレッシャーは以前とは比べものにならないほど強くなっています。

ひきこもりと対極にあるホームレス問題でも、人道的な側面からはもちろんですが、焦点は『ホームレス』という『状況』に当てられ、そこから『職探し』『住居探し』という支援につながる〈ホームレス自立支援法〉がつけられた訳です。

それと同じ論理で考えると、ひきこもり当事者が精神障害者か否かを探るよりも、家族共々を苦悩の渦に巻き込んでいるひきこもりという『状況』にこそ焦点が当てられるべきです。

2010年には、長期にわたるひきこもりは300万人として〈社会的な支援が届いていない膨大な数の人たちへの支援を考える〉というシンポジウムが、NPO法人メンタルケア協議会主催で開催されました。

10年を超えてひきこもる人や40代50代からのひきこもりもじわじわと増え、親も定年退職組がどんどん増加する現在、地方自治体が関わらざるを得ない体制を作るには、ひきこもりへの法的対応は待ったなしの課題といえるのではないのでしょうか。



親の会の必要性(体験的知識の重み)

- ① 親は悩み、主体的・自主的に行動する中で何かを発見することができます。親にとって、大切なことは問題と真正面から向き合い、自分の子どもの問題で悩み、なんとか主体的に努力してその解決を探る中で、何かを発見し親としての力量を身につけ、自信を持つことによって親として成長しています。(問題解決の主体は、親自身です)
- ② 『親の会』での親同士の援助は、同じ問題で悩みを抱えている仲間同士ですから、対等の立場での深い共感と理解が生じやすく、援助を特に効果的にすることもあります。それによって「ひきこもりの当事者」にも良い影響を与えます。
- ③ 『親の会』では、専門家から学習したことや仲間の経験から学んだことを自分自身の経験とつき合わせて、考え発見し検討していく中で、問題や悩みに取り組む自分たち自身の『スタイル』を生み出していきます。それは『親の会』のメンバーに共有され、会の『知恵』として蓄えられ、ひとつの原則へと繋がっていきます。
- ④ 『親の会』の援助から学ぶものは、『体験的知恵』に根ざすものです。それは専門的知識と比べて独自の正当な重みを持つものと思います。

親の『体験的知識』は悪戦苦闘の中で獲得されます。それは具体的で特殊であり、時々主観的で、それゆえ限界もありますが、共通の問題を抱える親の体験をリアルにイメージできるものです。こうした『体験的知識』は個々のとても具体的で独自の問題解決の大きな力になっています。

お知らせ掲示板

居場所活動の読書サロン

本を読み始めて半年になります。
文学少女シリーズも4冊目終了。雑談を楽しみに来所してくれる友人たちも増えました。

来月も文学少女シリーズを続ける予定ですが希望の本がありましたらメッセージコーナーへ書いてください。

連絡先

槌谷 富子 090-2094-9589
電話連絡は午後6時以降に願います。

NPO 法人 津山・きびの会 「トトロの家」のご案内

「トトロの家」は不登校・ひきこもりの居場所です。
相談。就労支援活動もしています。
みんなの安心できる場所をめざしています。

場所 津山市小桁 137 番地-2

TEL 0863-23-0028
トトロの家

「東備・きびの会」のご案内

開催場所は次のとおりになります。

場所：赤磐市山陽3丁目3-6

雨宮さん宅

開催日：第一火曜日、第二火曜日

第四火曜日 10時～15時ごろまで

「引きこもり相談会」・電話相談も行っております。

お気軽にどうぞ。

連絡先：石橋洋子
携帯 090-2807-7418

パソコン教室 開講中です

自分の絵や、えとを取り込んで、年賀状を作しましょう。

原田講師と一緒に学びます。

日時 11月21日 12月5日
午後1時半～4時

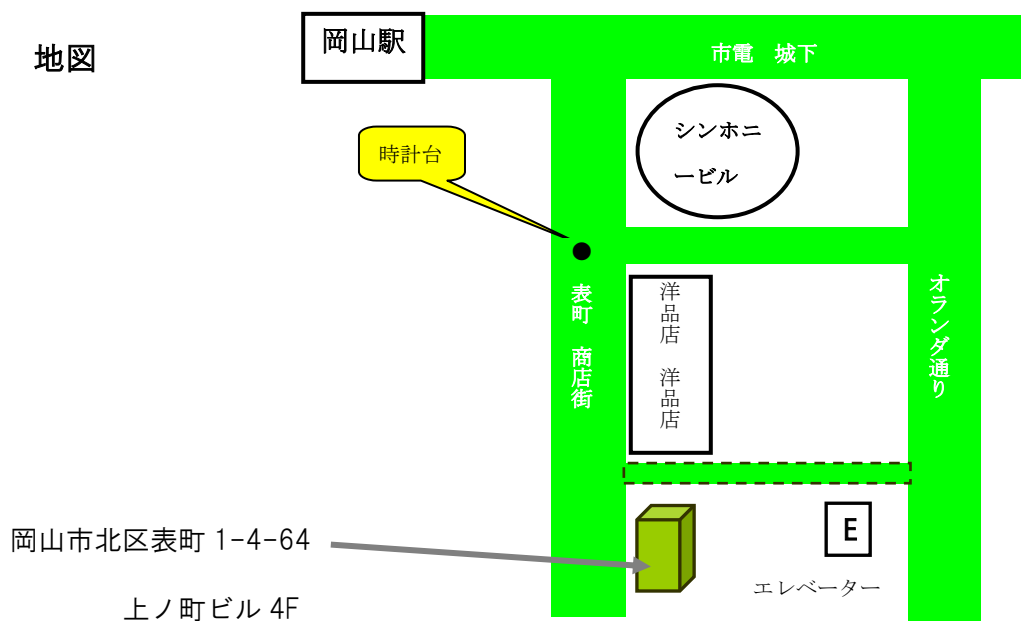
お問い合わせ 花谷
携帯 080-1908-3861

きびの会 居場所・行事カレンダー

11月

日	月	火	水	木	金	土
					1 居場所	2 居場所
3 休日	4 休日	5	6 居場所	7	8 居場所	9 居場所
10 定例会	11 居場所	12	13 居場所	14	15 居場所	16 松田先生 居場所
17 休日	18 居場所	19	20 家族教室 居場所	21 PC 教室	22 居場所	23 休日
24 役員会	25 居場所	26	27 居場所	28	29 居場所	30 居場所

きびの会 居場所 地図



家族教室 (原則)第3水曜日 午後 1 時半 ~ 4 時 担当:西紀子さん

松田相談日 (原則)第3土曜日 午前 9 時 ~ 午後 6 時 担当:松田勝カウンセラー

ご予約:中西 電話 090-9500-9618 または 086-955-2857

料金:会員は 1 時間 3,000 円 ※定員 8 名とさせていただきます

パソコン教室 (原則)第3木曜日 午後 1 時半 ~ 4 時 ワードとエクセルを中心に、原田講師が丁寧に対応します

お問い合わせ:花谷 電話 080-1908-3861

平成 12 年 9 月 20 日 第 3 種郵便物認可 (毎月 25 日発行) 平成 25 年 11 月 26 日発行 OSK 増刊通巻 137 号
発行所 岡山障害者団体定期刊行物協会 702-8025 岡山県岡山市南区浦安西町 74-9 脇 妙子 (TEL 086-263-7537)
無断での掲載、転写は禁じます。(定価 100 円は会費に含まれています)